COMPANY　PROFILE

株式会社アイ・エス・エス

INTEGRATED SOLUTION SERVICES

アイ・エス・エスの信条 - CREDO of ISS -

ヒトを大切にする企業でありたいと願い、三つの『態度』を大切にしています。

一つは、自分の人生を生きていく上で、人間として「かくあるべし」と願う態度です。
何があっても、何が起きても、どんな目に出くわしても、全てを自責し、他責にしない。
吸い込んだ息が「辛さ」であっても「悲しみ」であっても、吐く息は「感謝」であり「反省」でありたいと思います。

二つは、他者に対して私たちが示す態度です。
他者とは、家族であり、仲間であり、知人・友人であり、私たちのお客様・取引先です。
「今、相手は幸せか？満足してくれているか？心配事はないか？」
相手の心情について思いを馳せたいと思います。

三つは、仕事に対する私たちの態度です。
技術を根幹とします。
知識不足や経験不足は許されるものではありません。
専門的分野における学習への意欲、業務のために奉仕と献身の精神で励み勤める意欲、
そして課題解決の過程で生じる障壁にも怯むことのない勇気と情熱を基底にしたいと思います。

会 社 概 要

会　社　名	株式会社アイ・エス・エス		
設　立	1989年	資　本　金	1,000万円
売　上　高 （2026年1月期）	24億8,498万円	登　録　資　格	建設コンサルタント / 一級建築士事務所
代　表　者	代表取締役社長　丸山　明	社　員　数 （2026年4月1日現在）	179名（グループ合計：206名）
事　業　内　容	橋梁エンジニアリング（橋梁設計/橋梁保全/BIM・CIM対応/海外設計コード対応/高度構造解析・照査/現場対応/施工計画） 建築エンジニアリング（建築設計/耐震設計/インフラ整備） コンサルティング（アセットマネジメント/施設整備・更新計画/データマネジメント/住民参加型メンテナンス）		
関　連　会　社	東宝株式会社 スバル興業株式会社【親会社】	グループ会社	株式会社アイ・エス・エスグループ本社【持株会社】 株式会社アイ・エス・エス・アールズ

委 員 会 活 動

拠点や部署の垣根を越えて全社横断的な委員会を組成し、会社の未来を変革しています

- 採用プロジェクト委員会
- 社内教育企画実行委員会
- QA/QC委員会
- サイバー片付け委員会
- フィジカル片付け委員会
- ﾃﾞｼﾞﾀﾙｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ推進委員会
- 海外調達調整委員会
- システム管理委員会
- 健康増進取組実施委員会

職種紹介

橋梁設計職

日本国内だけでなく海外プロジェクトも扱っており、グローバルに技術を発揮しています。
また保全事業として補修・点検等の土木構造物の維持管理にも携わっています。

- 橋梁設計
  - 依頼・見積
  - 設計条件設定
  - 解析・詳細設計
    - 橋の形式や荷重を考慮し計算
  - 設計計算書作成
- 橋梁計画
  - 構造計画
  - 図面作成
    - AutoCADなどのツールを利用
  - 数量計算書作成
- 照査
  - 成果物の照査
    - 各作成物の整合性をチェック
- 提出

建築設計職（意匠・構造・設備・積算）

公共建築、民間建築および工作物の設計・積算を行っています。
また耐震診断調査や公共施設の調査点検にも数多く取り組んでいます。

- 意匠設計
- 構造設計
- 設備設計
- 積算
- 入札
- 現地調査
  - 敷地の与条件
    関連法規・規制の調査
- 計画・提案
  - 平面プランや
    建物ボリュームの検討
    スケッチ・模型などの
    作成・提案
- 基本設計
  - 図面作成、材料の方針検討
- 基本設計
  - 構造の初期提案、図面作成
- 基本設計
  - 設備の初期提案、図面作成
- 実施設計
  - 工事に必要な詳細図、
    建築確認申請書類の作成
- 実施設計
  - 建物の強度や耐久性を計算
    構造計算書の作成
- 実施設計
  - 冷暖房や照明など建物の設備に
    関する設計を行います
- 積算
  工事費見積
  - 図面を元に数量算出
    内訳書作成
- 提出

コンサルティング職

地域全体のインフラマネジメントを中心として地域づくり・まちづくりを行っています。
様々な調査やヒアリング、データ分析を行い、問題を明らかにして解決策を探ります。

- コンサルティング
- 依頼
- 打合せ
  ヒアリング
- データ分析
  調査
- レポート
  作成
- 報告
- 提出

拠点別の事業内容

事業内容	東京	横浜	名古屋	大阪	広島	福岡
土木設計（橋梁・保全・架設）	●	●	●	●	●	●
建築設計（構造）	●					●
建築設計（意匠・設備）				●		
建築設計（積算）			●			
コンサルティング	●					

事業紹介

1989年に、アイ・エス・エスは橋梁設計事業から始まりました。
私たちは、橋梁設計と建築設計 ならびにインフラマネジメントを統合し、技術を融合することによって、更なる社会インフラの価値を創造し続けて参ります。

01 橋梁エンジニアリング

橋梁設計　一般橋梁 ・ 特殊橋梁 ・ その他橋梁形式構造物

アイ・エス・エスは、鋼製橋梁の設計において6,000橋以上の実績を持つ橋梁設計専門サービス業界のリーディングカンパニーです。 当社は創業以来、国内外で数多くの優れた鋼製橋梁設計プロジェクトに携わって参りました。6,000橋という豊富な実績は、信頼と品質への絶え間ない取り組みの証しであり、多くのお客様に選ばれる理由の一つです。
当社の強みは、長年にわたり蓄積した経験と専門知識を活かした確かな設計サービスにあり、橋梁設計チームは、最先端の技術を駆使し、お客様のニーズに最適なソリューションを提供します。

橋梁保全　橋梁更新工事に関わる設計 ・ 耐震補強設計 ・ 補修設計

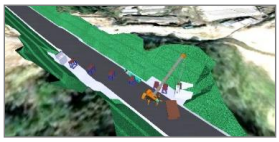
近年社会的問題となっている橋梁をはじめとした土木構造物の老朽化に対応する補修や、地震に対応する補強などの保全設計に力を入れています。
保全設計では、既存橋梁の設計思想を読み解き、損傷程度などの現場状況を把握し、最適な処置方法を提案します。 また地震に対しての動的解析を行い、必要な補強設計を行います。
当社は、橋梁設計のプロ集団として、技術の進化に常に対応し、さらなる挑戦を続けながら、鋼製橋梁の未来を創造していきます。

BIM/CIM対応

詳細度に応じた3Dモデルの作成に対して様々なソフトを使用し用途に適した柔軟な対応を可能にしています。

（使用ソフト例：AutoCAD、Revit、Civil 3D、Infra Works、Navis Works、Navis+、Sketch Up、Cyclone3DR、Tekla Structures）

架設・施工計画



架設検討図・施工ステップ検討などの施工計画、仮設備検討図・概算工事費算出などの対応を実施しています。
検討図では3Dイメージモデルの作成も行っています。

03 コンサルティング

アセットマネジメント　長寿命化修繕計画 ・ インフラ維持管理へのEBPMの導入

道路インフラの維持管理に関する効率化の検討

インフラ施設の資産管理（アセットマネジメント）という視点に力点を置き、橋梁や建物などのインフラ施設を対象とした長寿命化修繕計画や、公共施設等総合管理計画の立案などの業務に対応しております。

公共及び民間のインフラ資産の管理者に対して、組織やインフラ施設の特性に合う個別・最適なソリューションを提供しています。

データマネジメント　データ利活用検討

インフラの管理者に対して、施設データの管理・利活用の方策検討やシステム構築の支援サービを提供しています。

02 建築エンジニアリング

建築設計

意匠 ・ 構造 ・ 設備 ・ 積算

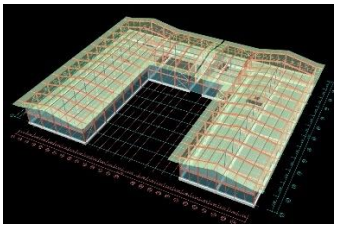
建築物におけるトータルソリューションを提供する専門部署で、建物の計画から設計、そして維持管理に至るまで、建物のライフサイクルを網羅する幅広い技術力が特長です。

設計の対象は多岐にわたり、全国の民間、官公庁の建築基本・実施設計業務の対応を行い、学校、庁舎、コミュニティセンター等、様々な用途の新築・改修案件の実績があります。

意匠・構造・設備・積算部門を社内で内製化し、企画～打合～工事監理までワンストップな対応が可能です。建築企画、計画などの計画立案の対応も行っています。

幅広い対応力と技術力を武器に、お客様のニーズに合わせた優れたソリューションを提供し続けると共に、建築と構造物の未来に貢献し、より良い社会の実現に向けて努力しています。

建築計画の完成予想パース



構造計算の3Dモデル

耐震設計

耐震診断 ・ 耐震改修

官公庁、民間建築物の耐震診断の実績が全国で200棟以上あり、歴史的建造物など特殊な建築物にも柔軟に対応しています。官公庁耐震診断案件の受注件数は全国でトップクラスです。
また官公庁、民間建築物の耐震改修設計の実績が全国で100棟以上あり、意匠・設備・積算・工事監理を含めた総合的なサービスを提供しています。

建物屋上への計画・設計

インフラ整備

調査・点検 ・ 工作物構造設計 ・ 携帯電話基地局

維持管理分野のニーズの高まりに合わせて、庁舎や公営住宅などを対象にしたリノベーション事業や老朽化した施設の調査・診断結果から最適な補修提案を行う長寿命化事業にも積極的に取り組んでいます。
現地調査の実績を多数有しており、高所作業車やドローンを用いての調査も行っています。
また建築、土木を問わず空港、鉄道、電力等の分野において工作物の構造設計を行っています。
携帯基地局の設計、強度検討業務を行っており、強度検討に関しては業界トップシェアを誇ります。
大手携帯電話キャリアの業務対応を20年以上行って参りました。

渋谷交差点に向けた5Gアンテナ

施設設備・更新計画

施設再整備計画 ・ PFI・官民連携導入支援

インフラ施設の整備及び更新の計画立案に関わる業務として、基礎的な調査から、計画全体の企画構想、整備・更新及び運営に関する戦略検討を行っています。さらに個別の検討として関連事業者へのヒアリング、技術・法務・財務面の検討、会議の運営など、多岐に渡るサービスを提供しています。

市町村の橋梁維持管理に関する検討会議

住民参加型メンテナンス

地域で生活する住民・企業等に対して、インフラメンテナンスの理解を深め、地域課題を解決するためのしくみづくりを支援しています。

社員紹介 アイ・エス・エスでは私たちが働いています

設計の幅を広げ、新たな分野へ

横浜技術部　入社7年目

建築系の専門学校で建築を学び、卒業後はハウスメーカーで4年間、住宅設計を担当しました。
仕事をする中で、もっと仕事の幅を広げ、これまでとは異なる分野にも挑戦したいと思い、転職を決意しました。
2020年に入社してからは、インフラ整備や橋梁の保全業務を経験し、現在は架設・施工計画を担当しています。
新しい橋を架ける計画から古い橋の撤去・補修まで、2D・3Dを活用して幅広く取り組んでいます。
前職では、分業化された業務の一部を担当していましたが、現在は案件を自分で担当し、考えた計画が実際の工事につながることに、大きなやりがいを感じています。計画を通じて橋が形になっていく過程も、この仕事の面白さです。今後はさらに技術力を磨き、周囲と協力しながらチームを牽引できる存在になりたいです。

橋をつくる仕事の面白さ

中日本橋梁設計部　入社6年目

私が入社を決めた理由は「手に職をつけたい」という漠然とした思いがあったからです。
大学では建築やインテリアについて学んでいましたが、大規模な社会基盤構造物である橋梁の設計職という仕事に魅力を感じ入社しました。現在は橋梁設計部に所属し、高架橋や歩道橋の上部工、橋脚の設計を担当しています。
橋の構造や設計方針は案件によってそれぞれ異なり、悩むことも多いですが、少しずつ技術者として成長していると感じています。業務では様々な観点から構造を検討するため、一つ一つの構造についてじっくり考えることができるという点が魅力だと思います。今後は、地震の動的解析やFEM解析など、未経験の解析手法にも挑戦し、技術者としてさらに成長していきたいと考えています。

分野を越えて広がる仕事の幅

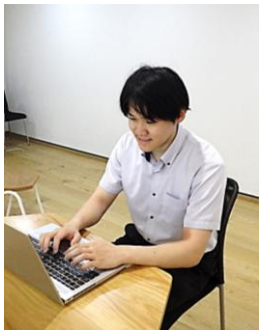
コンサルティング事業部　入社6年目

私が入社したきっかけは、文系・理系を問わず、さまざまな分野の仕事に携われることに魅力を感じたからです。
経済学部出身で、就職活動当時は業界や職種を限定せず幅広く仕事を見ていました。その中で、女性社員が多く、自分が働く姿をイメージしやすかったことも入社の決め手となりました。
入社後はいくつかの業務を経験し、昨年からコンサルティング事業部に所属しています。現在は自治体の総合管理計画に関する業務を担当し、情報を整理・分析しながら課題や方向性を検討しています。自分で考えたことを提案し、成果につなげられることに面白さを感じています。今後はさらに経験の幅を広げ、多角的な視点から提案できるようになりたいです。

建築×土木で磨く専門性

福岡橋梁構造部　入社4年目

大学・大学院では木質構造について研究し、建築構造設計を志望していました。
就職活動を進める中で、建築だけでなく＋αの専門性を身につけたいと考え、建築と土木の両方に関わる構造物を手掛ける当社に魅力を感じ、入社を決めました。現在はS造を中心に建築構造設計を担当しています。これまでS造・RC造・WRC造の設計や固有値解析、FEM解析を経験し、入社1年目には土木の橋梁設計にも携わりました。
幅広い構造に触れられることが、アイ・エス・エスの面白さだと感じています。まだまだ先輩や上司に教えていただくことも多いですが、少しずつ自分で考えて判断できることが増えてきました。これからさらに経験を積み、構造や設計への理解を深めながら、いつか一人で建物の構造設計を任せてもらえる設計者になることが目標です。



学び続け、技術を磨く

建築設計部　入社2年目

私が入社を決めた理由は、地震大国である日本の高水準な耐震技術について、理解を深めたいと考えたからです。
現在は建築設計部で、古い施設の耐震性を評価する耐震診断業務に携わりながら、建築構造への理解を深めています。診断結果を発注者に説明するためには、複雑な計算の意味や相互の関係まで正確に理解する必要があります。そのため、学生時代には十分に理解できていなかったことも、基準書などを何度も読み返しながら、一つひとつ理解していくことに苦労しています。
今後は構造設計業務にも携わる予定のため、これまでに学んだことを土台に、さらに専門知識を身につけ、技術者として成長していきたいと考えています。

働き方紹介 多様な働き方で活躍・成長できます

子育てとキャリアの両立

前職の土木コンサルタントを退職後、子育てに専念していた時期を経てアイ・エス・エスに再就職しました。ブランクへの不安もありましたが、これまでの経験を正当に評価し、温かく受け入れてくれた職場です。入社後にも出産を経験し、現在は4児の母として育児と仕事を両立しています。時短・時差勤務や在宅勤務など柔軟な制度に加え、「お互い様」で支え合う風土が根付いており、安心して働き続けられています。自身が携わった橋梁が完成し、子供に「お母さんが関わった橋だよ」と伝えた際の「すごい！」という笑顔が、何よりのやりがいです。ライフステージが変わっても、長く自分らしく活躍できる環境がここにはあります。

時短正社員の活躍

産前・産後休暇、育児休業を取得したのちに、子どもが1歳になるタイミングで職場に復帰しました。
現在は、6時間（9:00-16:00）の時短勤務をしています。主に在宅勤務で、週に1回出社をしてみなさんとコミュニケーションを取っています。まだ子どもが小さく急なお休みをいただくこともありますが、社員のみなさんのサポートのおかげで初めての子育てでも、無理なく安心して仕事と両立することができています。また、ママ・パパの先輩社員も多いので子育てについていろいろ相談したり教えてもらったりしています。子育てと仕事の両立は決して簡単なことではありませんが、まわりのサポートを受けながら安心して働き続けることができる職場だと感じています。

男性・女性ともに育児休業が取りやすい環境

妻が2人目を授かった際に2週間の育児休業を取得しました。1人目の時は別の会社に勤務しており、諸事情から育児休業取得をあきらめてしまいましたが、当社では会社全体で男性の育児休業取得に理解があり、妻が出産後の体調が最も大変な時期にサポートに徹する時間をつくることができました。
また妻の切迫早産による入院に伴い、時短勤務も利用しました。上の子が未だ小さく、保育所の送迎や夕食の準備等をしなければならなかったので本当に助かりました。一従業員としてだけでなく父親としての役割も尊重してくれることに感謝しており、安心して業務に取り組むことができています。

日本で学び、技術者として成長する

私はベトナムの短期大学で建築を学び、卒業後はホーチミン市の日系企業でCADオペレーターとしてガラス建築の図面作成に携わりました。日本の技術に触れる中で日本で働くことを志し、入社して4年になります。
現在は橋梁の耐震補強業務を担当し、点検結果や資料をもとに補修・補強箇所を特定し、指示内容や数値データに基づいて図面を作成しています。上司や先輩から丁寧に指導いただき、実務を通じて着実に経験を積むことができています。また、ベトナムの大学のオンラインコースで学習を続けるなど、専門性の向上にも努めています。今後も学びを業務に活かし、より専門性を高めていきたいと考えています。

シニアが働き続ける環境

定年後も豊富な経験や知識を活かしながら、安心して働き続けられる環境が整っています。高齢者雇用の他にもテレワーク勤務、時短勤務などひとりひとりに寄り添った働き方が可能です。
これまで培ってきた技術やノウハウを若手社員へ伝える役割も担い、会社の成長に貢献しています。また、年齢に関係なく意見を出し合える風通しの良い職場で、仲間と協力しながらやりがいを持って働いています。これからも健康に気を配りながら、長く活躍していきたいと考えています。

ごあいさつ

アイ・エス・エスは、高度化、多様化する社会のニーズに対応しながら、数多くの橋梁や公共建築、携帯基地局等における新設設計、耐震補強設計、補修設計を通じて、少しでも社会に貢献すべく、活動を続けて参りました。また、これからのインフラ施設維持管理のあり方を、アセットマネジメントを中心に企画・提案し、担い手不足や財源不足などの課題解決にも力を注いで参りました。我々はインフラ施設に対して、ハード面を対象とするエンジニアリングと、ソフト面を対象とするコンサルティングの技術を融合させた、ソリューションカンパニーとなることを目指し、社会インフラの価値向上に引き続き貢献して参ります。

株式会社アイ・エス・エスグループ本社
株式会社アイ・エス・エス　　代表取締役社長　丸山　明

「ヒトを大切にする企業でありたい」アイ・エス・エスグループの創業者 中村裕司の言葉です。
アイ・エス・エス・アールズは、社員一人ひとりの様々な事情に合わせた勤務形態を整え、多様な働き方によりアイ・エス・エスグループ事業のサポートを行っています。
ますます社員を取り巻く社会環境が複雑化しています。これからもアイ・エス・エスグループと共に社員一人ひとりが成長できる環境構築を長期的な視点で取り組んで参ります。どんな人生を送りたいのか、自分になにができるのか、「ヒト」を目的として一緒に問いを重ねながら、学び考えていきましょう。

株式会社アイ・エス・エス・アールズ　　代表取締役社長　松﨑　奈々恵

株式会社アイ・エス・エス　詳しい採用情報についてはこちらから

会社HP：https://www.issinc.co.jp
email　：info@issinc.co.jp

会社説明会を定期的に開催しております
ご興味がありましたら、お気軽にご予約ください

東京本社　東京都港区南麻布５-２-３２ 興和広尾ビル２F
広島支社　広島県広島市中区鉄砲町８-１８ 広島日生みどりビル７F
大阪支社　大阪府大阪市中央区伏見町４-４-１０ 新伏見町ビル３F
名古屋支店　愛知県名古屋市中区栄２-１０-１ メイフィス伏見ビル４F
福岡支店　福岡県福岡市博多区博多駅東１-１３-９ いちご博多駅東ビル５F
横浜支店　神奈川県横浜市港南区上大岡西１-１３-８ 大樹生命上大岡ビル９F

新潟営業所　新潟県新潟市北区下大谷内３７８-６
Florida Office　2060 South Patrick Drive, Indian Harbour Beach, FL 32937, USA